

登録コード	EKG04900	開講年度	2026				
授業科目	発達障害児の理解と支援				担当教員	下山 真衣	
英文授業名	Understanding and supporting children with developmental disabilities				副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3時限	履修学年	1,2年生
講義室	教育 E 1 0 6		授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				【授業の達成目標】		
	2 6 E A カリ, 2 5 E A カリ, 2 4 E A カリ						
	教育の専門職としての学識・技能				・発達障害（特に自閉スペクトラム障害）のある子どもの教育と支援に関して応用行動分析学を中心にその支援について学ぶ。		
	子どもの多様なニーズへの対応力				・これらの学識を学校教育の現場の実践的課題に応用する方法を検討できる		
	2 4 E A カリ						
	既存の枠組みを超える柔軟な発想力と深い省察力				・発達障害に関連した既存の解決法だけでなく、新たな支援と教育の展望ができる		
(2)授業の概要	講生の実践的な課題や今日的な課題についてテーマを決め、そのテーマに該当する研究成果について調べ、それをもとに講義・演習を行う。該当の研究成果を学校教育の現場の実践的課題へ応用行動分析学用いた支援方法について学ぶ。						
(3)授業計画	第 1 回：ガイダンス 第 2 回：発達障害のある子どもへの応用行動分析学による支援 第 3 回：発達障害のある子どもへの支援：強化 第 4 回：発達障害のある子どもへの支援：弱化学 第 5 回：発達障害のある子どもへの支援：刺激性制御：弁別と般化 第 6 回：発達障害のある子どもへの支援の実際：シェイピング 第 7 回：発達障害のある子どもへの支援の実際：プロンプト 第 8 回：発達障害のある子どもへの支援の実際：チェイニング 第 9 回：発達障害のある子どもへの支援の実際：機能的アセスメントによる問題行動の理解 第10回：発達障害のある子どもへの支援の実際：分化強化 第11回：発達障害のある子どもへの支援の実際：先行子操作 第12回：発達障害のある子どもへの支援の実際：消去と消去の適用 第13回：発達障害のある子どもの情動行動：レスポナント条件づけ 第14回：まとめ レポート提出 授業アンケート						
(4)成績評価の方法	課題レポート（40%）と演習による研究発表（30%）に関わる討論(30%)によって、専門的で新しい知識を説明し、応用行動分析学を用いて実践的課題に対する授業改善や教材開発、校内コンサルテーションについて課題検討の深化と学校教育の現場への教育と支援の応用の提案ができていくかについて評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可						
(5)履修上の注意	相談等がある場合はメールで対応する。研究室訪問は常時受け付けるが、なるべく事前に訪問日時を相談すること。						
(6)質問,相談への対応および連絡先	質問や相談は研究室の対面、もしくはオンライン、メールで受け付ける。 メールアドレス： mshimoyama@shinshu-u.ac.jp						
(7)成績評価の基準	専門職としての学識・技能、子どもの多様なニーズへの応用力、柔軟な発想力に関して評価する。 『合格水準にある』に関する説明、の検討、に関して発表ができる。 『やや上にある』に関する説明、の検討、に関して、レポートの作成、発表ができる。 『かなり上にある』に関する説明、の検討、に関して、根拠に基づきレポートの作成、発表ができる。 『卓越している』に関する説明、の検討、に関して、根拠に基づいた具体的なレポートを作成し、発展的な展望を示せる。						
(8)事前事後学習の内容について	・授業時間以外に情報収集、課題の検討、発表資料の作成をし、授業で担当教員とさらなる検討が可能となるよう準備を絶えず続けること。 ・授業の終わりに次回授業の予告とともに事後学習の復習の範囲と事前学習範囲を指示するので、その範囲について、専門用語の定義の確認を行い、先行研究の収集と熟読をすること。そのため、予習と復習には毎回1時間以上の時間を自主学習に当てる必要が出てくる。この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
【教科書】	ミルテンバーガー（2006）『行動変容法入門』（園山繁樹、その他訳）二瓶社 ISBN 978-4861080258						
【参考書】	適宜指定する						